

# 施術効果の評価表

(表1 頸部・上肢の評価)

(傷病部位名 )

(評価日 . . )

区分	内容	具体的内容	評価
日常生活動作 0 不能 1 困難 2 容易	食事		
	排泄		
	更衣		
	整容		
	その他		
痛み		なし	
		軽度(不定期、時々痛み)	
		中等度(動作時常に痛み)	
		強度(動作時常に強い痛み)	
		激度(持続的自発痛)	

(注) 「具体的内容」欄には、被施術者の日常生活動作に応じた具体的内容(例えば食事においてははしを持つ、スプーンを持つ等)を記入すること。

なお、 ~ 以外の基準を持って評価を行う場合は、評価に用いた基準(日本整形外科学会又は日本リハビリテーション学会の評価法名)を 欄に明記し、評価を行い評価結果を添付すること。

「評価」欄には、0 不能 ・ 1 困難 ・ 2 容易 に区分し判定すること。

「痛み」欄には、本人の主訴を含めた評価時の状況について該当するものに 印を付けること。

具体的内容の例

- 食事・・・はしを持つ、スプーンを持つ、茶碗を持つ・・・等
- 排泄・・・和式トイレで用をたす、尻を拭く・・・等
- 更衣・・・ボタンの掛け外し、靴下の着脱、ズボン着脱・・・等
- 整容・・・歯を磨く、顔を洗う、爪を切る、タオルを絞る・・・等

以上の通り評価します

平成 年 月 日

病院 診療所

医師

印